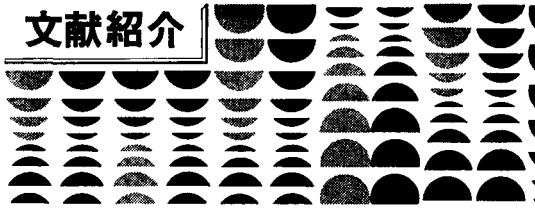


## 文献紹介



*J. Operational Research Soc.* 29, 6, 1978.

- 494 OR学界人は実務に貢献できないのか?  
M. G. Simpson. 517-522.
- 495 ORと企業計画に関する議論—方法論と教育  
J. A. Carruthers. 523-528.
- 496 疾病の程度の測定  
R. Rosser & V. Watts. 529-540.
- 497 旅行選択のモデルに現実の行動をのせるには  
I. G. Heggie. 541-550.
- 498 多重サービスの費用  
A. P. Johnson. 551-558.
- 499 都市銀行が小切手処理するための時間を削減するためのコンピュータ化された作業のスケジューリング  
S. G. Davis & L. A. Swanson. 559-564.
- 500 都市計画のための数学的モデルの精度  
M. Cirinà. 565-576.
- 501 再生過程における精緻化された漸近的費用  
A. H. Christer. 577-584.
- 502 分配分析のための線形距離関数の開発  
R. A. Fildes & J. B. Westwood. 585-592.
- 503 ADAPT: 広告決定への適応的アプローチ  
G. Assmus. 593-601.

(木嶋恭一)

*Management Science.* 24, 10, 1978.

- 504 専門家の先験分布にもとづいた適応的予測モデル  
R. L. Winkler, W. S. Smith, 他. 977-986.  
専門家による先験分布をモデルに適合させる試みがなされている。正規分布誤差をもつ線形モデルが詳細に検討され、アスファルト舗装の疲労寿命の予測に関する応用例が述べられている。
- 505 地方債の立て替え償還における鞅取り過程の最適化  
Y. M. Babad & P. D. Speer, Jr. 987-1000.
- 506 移動可能な保健サービス計画モデル  
P. T. Ittig. 1001-1010.  
特定の人々を対象にし移動可能な保健サービス計画の

改善された方法を提案している。人口、財務、システム・ダイナミクスに関する広範なデータを取り入れることによって計画過程に役立つ線形モデルが示されている。

- 507 先行制約をもつ単一機械順序づけ問題に対する「アルゴリスティクス」とよばれるヒューリスティクス  
T. E. Morton & B. G. Dharan. 1011-1020.
- 508 多目標巨視経済政策問題の解法とその応用  
H. Wallenius, J. Wallenius, 他. 1021-1030.
- 509 シンプレックス法のための動的な分解アルゴリズム  
R. D. McBride. 1031-1042.
- 510 品切れが発生する場合の販売データからの需要予測  
W. E. Wecher. 1043-1054.  
品切れによる予測の正確さ(カタヨリと誤差分散)の効果が解析されている。
- 511 2次決定問題に対するデータの価値  
T. M. Rice. 1055-1063.  
結果に対する価値関数が2次であるような決定問題におけるデータの価値を近似的に計算する方法を述べる。
- 512 組織状況と経営情報システムの成功  
P. Ein-Der & E. Segev. 1064-1077.  
MISの成否に影響する組織状況変数を明確にし、それらを操作不能、部分的操作可能、操作可能に類型化し、概念的な枠組みを提案している。
- 513 受注残と売逃しの双方を考慮した生産—在庫管理モデル  
B. T. Doshi, F. A. D. Schouten, 他. 1078-1092.  
在庫水準に応じて2段階の生産速度からの選択を行なうコントロール・ポリシーを論じている。(日下泰夫)

*Management Science.* 24, 11, 1978.

- 514 組織の計画過程の改善方法の計画—メタ・計画における事例研究  
J. R. Emshoff. 1095-1108.
- 515 Amtrak と Auto-train がフロリダへの休暇旅行を変えたか?  
J. H. Gapinski & H. P. Tuckman. 1109-1116.
- 516 ホテルの部屋の制限を超える予約受付の問題の一考察—確率的な取消をもつ在庫システム—  
V. Liberman & U. Yechiali. 1117-1126.
- 517 割引のあるマルコフ決定問題に対する修正された政策改良アルゴリズム  
M. L. Puterman & M. C. Shin. 1127-1137.
- 518 無限期間の動的在庫問題に対するミニ・マックス

発注政策

R. Jagannathan. 1138-1149.

519 LIFO(後入・先出)在庫システム

M. A. Cohen & D. Pekelman. 1150-1162.

520 資源制約付のスケジューリング問題の解法のためのネットワーク切断をもつ有効な整数計画法

F. B. Talbot & J. H. Patterson. 1163-1174.

521 待ち行列のネットワーク弱収束に関する結果のサーベイ

A. J. Lemoine. 1175-1193. (城川俊一)

*Naval Research Logistics Quarterly*, 25, 2, 1978.

522 部品の故障数の少なさにもとづく高信頼度のコヒーレントなシステムに対する信頼限界の決定

J. M. Myhre, A. M. Rosenfield, 他. 213-228.

523 相変化を伴う系の信頼度の近似計算

H. Ziehms. 229-242.

524  $N$ 個の品質レベルをもつ、陳腐化する設備に対する検査政策

Z. Kander. 243-256.

525 多項分布に対する正規近似の誤差について

L. Weiss. 257-262.

526 多項分布のある混合型密度関数の反復計算法

R. K. Fink & H. Moskowit. 263-272.

527 銃身の最初のひびの大きさと疲れ寿命に対する確率モデル

F. Proschan & J. Sethuraman. 273-278.

528 ある積み荷問題に対するアルゴリズム

M. S. Hung & J. R. Brown. 289-298.

529 組立てラインのバランス問題に対するヒューリスティックなネットワーク手順について

P. A. Pinto, D. G. Dannenbring, 他. 299-308.

530 擬似線形な目的関数をもつ区間プログラミング

C. R. Bector & S. K. Bhatt. 309-314.

(稲田啓佐)

*Operations Research*, 26, 6, 1978.

531 乳ガンに対する撮影検査政策の解析のための数学的モデル

M. Shwartz. 937-955.

乳ガンの一つの数学的モデルを開発し、撮影検査の效用を評価するのに用いる。

532 内線電話料金の請求割合についてノン・アトミック・ゲーム理論の新しい応用

L. J. Billera, D. C. Heath, 他. 956-965.

サービスはまとめてされるが、支払いは多くの小口使

用者によってなされる状況において、支払い割合を決定する問題を考える。望ましい割合は公正であり、すべてのコストを含まねばならない。この問題をノン・アトミックゲームとして定式化し、そのゲームの値を使って解く。加うるに、詳細な現実の場合を、計算方法および結果とともに示す。

533 最適な陪審員選択について、専断的陪審員忌避に対するゲーム理論的モデル

S. J. Brams & M. D. Davis. 966-991.

有罪に投ずる事前確率がわかっている陪審員候補者のリストから、無作為に選ばれた人を順番に1人ずつ、陪審員として受け入れるか忌避するかを弁護側と検察側が各々、その人の事前確率、リストの中のこの確率の分布、選ぶべき残りの陪審員の数、双方の専断的陪審員忌避の残りの人数の関数として決定する。この陪審員選択ゲームにおいて、弁護側は、有罪の期待確率を最小にし、検察側は最大にするようくり返し型アルゴリズムを見出す。一群の結果が最適戦略およびその値の数値計算から導き出され、グループとしての陪審員忌避へと解析を一般化する。

534 通常の施設配置問題に対する双対法に基づく手法

D. Erlenkotter. 992-1009.

置かれる施設の数に制限のない通常の施設配置問題に対して、線形計画法の双対理論にもとづく解法を示し、その効率性を調べる。解法は単純増加法および調整法を用いて整数の最適解を作り出そうとしており、もし失敗した場合は分枝限定法にもとづいて作り出す。この方法は他の方法と比べて、この論文の計算実験から判断する限り、格段にすぐれているようである。

535 バスケットボールにおける失点チームボールに対する得点チームボールルールの確率的モデル

S. C. Albright & W. Winston. 1010-1019.

通常の失点チームにボールを与えるルールを変えて、得点したチームにつきのボールを与えるルールにした時に一方が勝つ確率がどう変わるかを考察する。最初にある得点を取ったほうを勝ちとする場合および、終了ブザーがなった時に、ボールをもっていたほうが勝ちとする場合についてこのルールの変更の影響を調べる。どちらの場合も一方のチームが勝つ確率はルールの変更によって変わらないことが示される。

536 計算機を用いたメッセージ・交換センターの設計

S. Stashevsky & I. Adiri. 1020-1032.

ミニコンを用いてメッセージ・交換センターを設計する問題を考える。二つの相補的なアプローチ、すなわち、近似的な数学モデルととも現実的なシミュレーションを用いる。その結果が比較され議論される。(石井博昭)